

神戸市介護サービス協会だより

神戸市介護サービス協会 〒651-0086 神戸市中央区磯上通3-1-32 神戸市社会福祉協議会内
TEL 078 (271) 5326 FAX 078 (271) 5366
URL <https://www.kaigo-kobe.net>
E-mail kaigo@with-kobe.or.jp

◆ CONTENTS ◆

会員アンケート結果……………	1・2	協会事業の紹介(行政への要望等)……………	6
協会事業の紹介(情報提供・広報)……………	3	第1回神戸市との意見交換会……………	6・7
協会事業の紹介(各種研修会)……………	4	協会の活動状況……………	8
第3回研修会・オンラインセミナー案内……………	4	今後の広報について……………	8
協会事業の紹介(協会作成様式・マニュアル)……………	5	編集後記……………	8

◆◆◆ 神戸市介護サービス協会 会員アンケートの結果 ◆◆◆

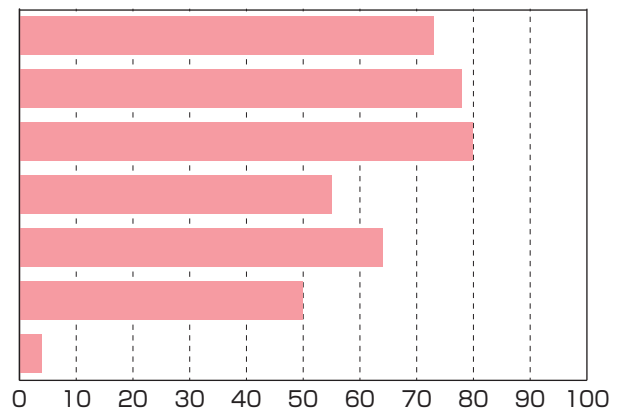
コロナ禍を経て、会員事業者の状況にも様々な変化があり、それぞれが抱えておられる課題も変わってきていると思います。今後の協会事業を考えるにあたり、皆様の協会へのニーズをお聞きし、事業計画に反映させるためアンケートを実施しました。

多くの事業者の皆様にご回答いただきありがとうございます。アンケート結果の一部をご紹介します。

- ◆対象 会員施設・事業所等 サービス種別ごとに回答いただく。
- ◆実施方法 協会ホームページより、Google フォームを使用したWEBアンケート。(無記名回答)
- ◆実施時期 令和5年10月18日～11月16日
- ◆回答数 137件(入所系89件,通所系63件,訪問系40件,居宅介護支援・地域包括支援センター38件,その他12件) ※重複あり

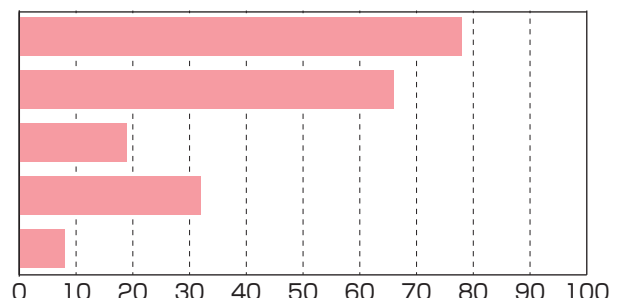
Q. 今後、協会主催の研修会で希望する内容は何か?(あてはまるもの全てに☑してください)

医学知識や介護技術など、医療・介護の専門知識についての講演	73
経営やクレーム対応、接遇など、医療・介護の専門知識以外の講演	78
介護保険制度や、BCP等の介護事業運営に関わる制度の説明会	80
人材確保、育成に関する講演(経営者・管理者向け)	55
新人、中堅職員等の経験別の職員向け研修・ワークショップ	64
多職種によるグループワークなど、多職種連携に繋がられるような研修	50
その他	4



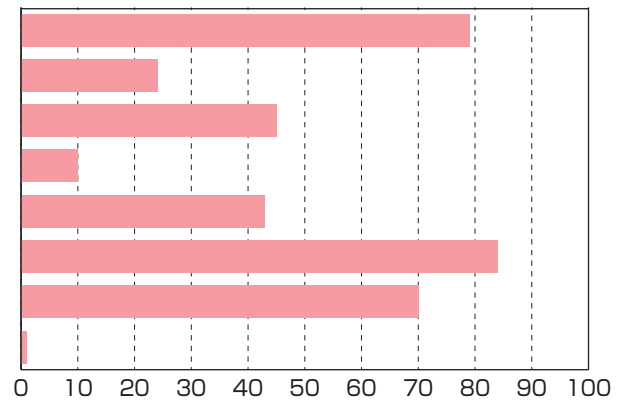
Q. 協会からの研修会の開催通知やアンケートの協力依頼等、協会からの情報の受け取り方で希望する方法を2つまで選択してください。

印刷物等、紙媒体の物を郵送	78
協会公式LINE、メールマガジンで配信	66
FiNE-LINKの広告ページ(〇〇区タイムズ)で配信	19
協会ホームページに掲載	32
その他(E-mail)	8



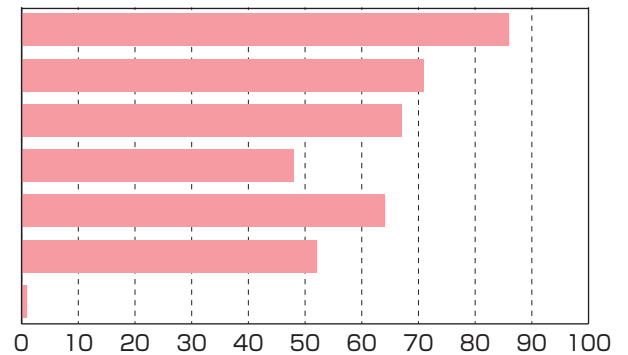
Q. 協会から受け取りたい情報で希望するもの上位3つまで選択してください。

協会主催、他団体主催の研修会情報	79
協会で実施した調査等の報告	24
協会で実施した研修会や神戸市との意見交換会の報告	45
コラムや施設見学等の独自取材記事	10
厚生労働省の会議報告や通達の情報	43
神戸市の介護保険、介護人材に関わる情報	84
行政等が募集している補助金、支援金等の情報	70
その他(次世代型サービス内容)	1



Q. 今後、協会で重点的に行って欲しい活動は何ですか?(あてはまるものすべてに☑してください)。

介護保険関連情報の提供	86
介護サービスの質の向上のための研修会の充実	71
様式・マニュアル等の整備・作成	67
保健・医療・福祉の連携のための調整的役割	48
介護人材確保・育成のための取り組み	64
行政等への提言・要望活動	52
その他(次世代型サービス内容)	1



今回のアンケートの中で、介護・医療の関係者間の情報共有についてもお聞きしました。

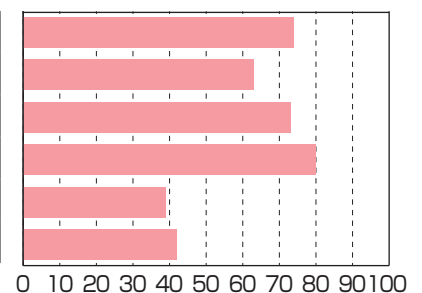
Q. 現在、介護・医療の関係者間で利用者・患者等の情報共有をするためにどのようなツールを利用していますか。利用頻度の高いものから1番～3番まで選択してください。

	1番目	%	2番目	%	3番目	%
FiNE-LINK	19	13.9%	15	10.9%	23	16.8%
LINE	7	5.1%	10	7.3%	9	6.6%
バイタルリンク	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%
E-mail	14	10.2%	11	8.0%	36	26.3%
FAX	14	10.2%	78	56.9%	25	18.2%
電話	80	58.4%	17	12.4%	17	12.4%
その他	3	2.2%	0	0.0%	8	5.8%
合計	137	100.0%	131	95.6%	119	86.9%

※1番目～3番目の中に電話とFAXどちらも入っている回答=101件

Q. 関係者間の情報共有ツールを選択する際、課題となることは何ですか?(あてはまるものすべてに☑)

費用(導入経費を含む)	74
操作性(簡単に操作できるか)	63
セキュリティ面(個人情報漏洩の危険性)	73
連携相手によって利用しているツールが違う	80
導入時の環境整備や設定(ネット環境、デバイスの準備等)	39
関係者間で誰が主導するのか	42



介護現場では今でも電話とFAXを使用した情報共有がメインのようで、デジタルツールを活用した連携の難しさが見えてきます。

神戸市介護サービス協会とは・・

神戸市の介護保険制度の円滑な運営と市民ニーズに応えられる良質で安定的なサービス提供のため、市内で介護保険制度に関連する7つの団体が協力して設立した団体です。協力団体からは、事業内容に対するご意見等をいただいています。

- <構成団体> ○神戸市老人福祉施設連盟 ○神戸市介護老人保健施設協会 ○神戸市民間病院協会
○神戸市シルバーサービス事業者連絡会 ○神戸市医師会 ○神戸市歯科医師会 ○神戸市薬剤師会
- <協力団体> ◇兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会神戸ブロック ◇神戸市ケアマネジャー連絡会
◇神戸市リハ職種地域支援協議会 ◇兵庫県栄養士会

上記団体より推薦いただいた役員で構成される、理事会、運営委員会、居宅介護支援サービス部会、在宅サービス部会、施設サービス部会において、協会の事業等を検討し、実施しています。

神戸市介護サービス協会の事業①

⊕ 介護保険関連情報の提供・広報 ⊕

協会では、会員の皆様に有益な情報をお届けするため、また、協会の各事業についてお知らせするために様々な媒体を活用して広報活動を行っています。

《ホームページ》 協会事業の案内や、行政の介護保険関連情報等、皆様の役に立つ情報を掲載しています。協会の作成様式のダウンロードや、介護ノート、マニュアル類の発注もこちらからできます。

神戸市介護サービス協会ホームページ

<https://www.kaigo-kobe.net>



《LINE公式アカウント》 《メールマガジン》

研修会の案内や補助金の申請等、タイムリーにお届けしたい情報をお送りします。

《FINE LINK》 神戸市内の介護事業所も多く加入している、関係者間連携のためのLINEWORKSを利用したサービスです。

LINEの友だち追加、メールマガジンの読者登録は下の2次元バーコードを読み込むか、協会ホームページの右下のアイコンをクリックして登録してください。

LINEの友だち追加はこちら



メールマガジンの読者登録はこちら
下記のアドレス宛に空メールをお送りください。送信できない場合は、件名に「メルマガ」と入れて送信してください。



tjxu4@mail.os7.biz

登録してね!



今後の協会からのお知らせについて

「協会だより」はこの号をもちまして発行を終了いたします。

介護業界においてもデジタルネットワークの普及が進んでおり、即時性の高い情報発信が求められています。一方で、介護現場では仕事用のデジタルデバイスを常時使用しない職種もあるため、掲示・供覧できる紙媒体の必要性もあると認識しています。

今後、協会からのお知らせについては、協会ホームページに掲載するとともに、内容、即時性に応じて、LINE、メールマガジン等による配信、紙媒体の郵送と使い分けていきます。LINE、メールマガジンの登録については上記をご確認ください。

今後も、皆様が活用しやすい媒体での情報提供等を検討していきたいと考えていますので、引き続きよろしく願いいたします。

神戸市介護サービス協会の事業②

各種研修会

協会では、例年、会員事業者を対象にサービスの質の向上を図るために必要な知識・技術の習得、介護を取り巻く課題の理解等を目的として年3回全体研修会を開催しています。また、より質の高い介護サービスを提供していくため、介護関係者間の連携を深めていくため等、必要に応じて非会員事業者も参加できる研修会も開催しています。

研修会の開催方法についても、コロナ禍においてはオンラインを活用したWEBセミナーを中心としていましたが、現在はグループワークを取り入れた集合型研修や、受講者の都合のよい時に視聴できるYouTubeによる配信等、様々な方法で参加いただけるよう工夫しています。

現在、開催予定の研修会は以下のとおりです。詳細・お申込みは協会ホームページからお願いします。

令和5年度 第3回全体研修会

神戸市の災害時対応と介護現場で準備すべきこと

日時: 令和6年3月5日(火) 14:00~16:00

内容: 講演1「阪神・淡路大震災の教訓を踏まえた自助・共助・公助の備え」

講師: 神戸市危機管理室 係長 高槻 麻帆 氏

講演2「地域で支える災害時要援護者」

講師: 神戸市福祉局くらし支援課 担当係長 岡 邦彦 氏、白坂 美咲 氏

会場: こうべ市民福祉交流センター 2階 201教室

定員: 150名

参加費
無料



詳細・お申込みは
こちらから

オンラインセミナーシリーズ2023

◎ YouTubeによる限定公開ですので、受講者の都合のよい時に視聴できます。

◎ 会員事業所は受講料無料ですので、職員研修として等ご活用ください。

◎ 動画の内容は、R4年度に開催したものと同じです。

第5回「介護現場で役に立つフレイル予防」(2月開催)

	内容	講師
講義1	介護現場で役に立つ フレイルの予防と改善	新須磨病院 リハビリテーション科 主任 小山 長 氏 (理学療法士)
講義2	作業療法士と学ぶ認知症フレイル予防	神戸協同病院 医療リハビリテーション科 主任 佐野 広和 氏 (作業療法士)
	「しゃべる」と「食べる」を続けるために	荻原記念病院 リハビリテーション部 服巻 陽子 氏 (言語聴覚士)
講義3	フレイル予防に対する神戸市の取り組み	神戸市介護保険課 介護予防推進担当 係長 丸岡 友美 氏 (保健師)

第6回「介護現場で知っておきたい専門知識研修会」(3月開催)

	内容	講師
講義1	高齢者介護現場における口腔ケア (ADL別の口腔ケア、疾患別の注意点 等)	神戸市歯科医師会 高齢者福祉委員会 副委員長 橋本 猛央 氏
講義2	高齢者介護現場における薬剤知識 (処方箋・副作用について、服薬管理の方法 等)	神戸市薬剤師会 地域医療部委員 白石 智子 氏
講義3	高齢者の栄養改善 (低栄養、糖尿病、摂食・嚥下障害の方の栄養管理 等)	兵庫県栄養士会 常務理事 河内 清美 氏

※「介護の仕事 ビギナーズセミナー」は1年を通して開催しています。協会ホームページをご確認ください。

神戸市介護サービス協会の事業③

⊕ 協作成成様式・マニュアル等 ⊕

介護保険事業所、医療機関等の関係者が利用者に関する介護・医療情報を共有するための様式や、介護サービスの質の向上のため各職種に役立つマニュアル等を作成しました。

これらの様式・マニュアルは協会ホームページからダウンロード、購入ができます。

《介護情報等共有のための諸様式》

ケアマネジャーから、利用者の主治医に連絡を取る場合や、サービス担当者会議を開催する時の日程調整、利用者に関する介護情報等を質問・提供する場合等に使用する様式です。各様式はダウンロード（Word形式・Excel形式・PDF形式）でき、パソコンでの直接入力が可能です。



《介護ノート》

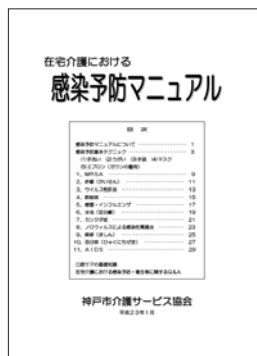
複数の介護サービスを利用される方や、ひとり暮らしで認知症の症状を有する方などを対象に、介護サービス事業者、医療関係者、ご家族間で情報を共有し、よりよいサービスを提供するために使用するノートです。利用者宅に設置し、関係者が書き込んで使用します。（A4、64ページの冊子）



1冊 100円

《在宅介護における感染予防マニュアル》

在宅にて介護サービスを提供する際に、介護職員が感染予防に関して注意すべき事項についてまとめたものです。感染予防に有効な手段（手洗い、うがい、手袋、マスク、エプロン）や、在宅で介護サービスを提供する際に接する機会が多い感染症について、ケアの具体的な方法や注意点をまとめています。（スライドレール式）



1冊 100円

《在宅介護における事故・クレーム対応事例集》

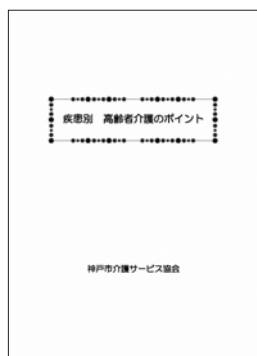
会員事業所から寄せられた事例をもとに61事例を掲載しています。事故を防ぐために事前に確認しておくこと、発生直後の初期対応のポイントなど、事業所として取り組む基本的な対策などは共通点があり、参考になります。専門家にいただいたワンポイントアドバイス、コメントも掲載しています。（スライドレール式）



1冊 100円

《疾患別高齢者介護のポイント》

医療職でない介護従事者が、利用者の疾患等について知りたい時、専門書では難しいとの声を受け、高齢者によく見られる疾患ごとに、①疾患の概要②主な症状③生活上の留意点④ケアマネジメントのポイント⑤代表的な薬などをまとめたものです。特定の疾患に限らない共通のポイントについても掲載しています。（スライドレール式）



1冊 100円

《ホームヘルパーきほんのき》

訪問介護を行うホームヘルパーが最低限知っておくべき基本的な心得やマナー等について、経験の浅いホームヘルパーにもわかりやすく記載したマニュアルです。ヘルパー各自がいつでも見られるよう、携行しやすいコンパクトなA5サイズになっています。（A5、36ページの冊子）



1冊 100円

神戸市介護サービス協会の事業④



行政等への提言・要望活動



協会では、介護保険制度、介護業界が抱える諸問題について協議し、介護保険サービスを安定して提供するためにも、神戸市及び厚生労働省に対する要望活動を行っています。

また、毎年、神戸市との意見交換会を開催し、協会より提出した「神戸市への介護保険制度に関する要望」についての意見交換をすると共に、神戸市からの回答を得る場を設けています。

令和5年度第1回 神戸市との意見交換会を開催しました

令和5年8月3日に令和5年度第1回目の神戸市との意見交換会を開催しました。7月に提出した要望について、当協会の運営委員・部会員より説明をし、神戸市福祉局監査指導部・介護保険課の課長、係長と意見交換が行われました。紙面の都合上、全て掲載はできませんが、主な要望内容・意見交換の様子は以下の通りです。

1. 介護予防・日常生活支援総合事業について

コロナ禍の影響で事業者の経営状況は悪化しているなか、総合事業の単価見直しで単価が下がると、事業者が受け入れに対して消極的になるのは必然だと考えられる。介護給付の対象となる前の早期の対処で、高齢者の生活機能の維持・改善が期待でき、結果的には介護給付費の増加を抑制できると思われる。要介護以前の高齢者へのサービス量が担保されるよう、総合事業の単価の引き下げについては慎重に検討いただきたい。また、総合事業に係る書類の簡素化や人員配置基準の緩和など、運営や事業収支など総合的に考えて事業者にとってマイナスにならないように検討いただきたい。

神戸市:今年度、コロナの二次被害対策として「アクティブシニア応援プログラム」を8月から開始している。高齢者が行きやすい駅前や区役所で、転倒リスクチェックを行い、転倒リスクの高い方に「アクティブシニア応援プログラム」を案内する。対象者の8割はプログラムに参加したいということで、多くの参加希望を聞いているが、身近に開催場所がないため通えないという状況がある。身近な場所でプログラムに通いながら体力を改善し、社会参加に戻るといった循環型の地域を作りたい。

2. 要介護認定について

①要介護認定が厳しくなっている印象がある。状態が変わらないのに認定結果が軽くなると、利用者は納得せず、変更申請を出すことになるので、結局手間が増えている。一次判定は調査員の特記事項の書き方によることも大きいので、調査員研修を充実していただきたい。特に独居の方は、生活機能について「自分でしている」とことになるので軽く判定されてしまう。独居の方の認定調査について注意いただきたい。

②神戸市ではあんしんすこやかセンターに併設する居宅介護支援事業所の認定調査員は介護支援専門員資格取得者に限定されている。介護支援専門員の専門性が認定調査に活かされることは確かであるが、介護支援専門員が不足している状況を鑑み、他の保健、医療、福祉の専門的知識を有する者を認定調査に特化して育成していくなど、認定調査員の資格要件緩和について検討いただきたい。

神戸市:認定調査は国の認定調査テキストに基づいて実施することになっており、どの調査員が行っても公平に同じように調査ができるようにするため、様々な研修や調査のチェック等を設けてその担保を図っている。一次判定に反映されない介護の手間等を適切に特記事項に記載するという点についても、研修等で伝えている。

認定調査員の資格要件緩和については法令の規定上、居宅介護支援事業所等の認定調査員は介護支援専門員の資格取得者に限定されており、神戸市として資格要件を緩和することはできない。ケアマネジャー、認定調査員を含め人材が非常に厳しい状況になっていることや、今後も高齢者がどんどん増えていく中で認定調査の件数も増えていくことは十分承知しているので、どのような方法をとれるのか考えていきたい。

3. 新たな介護人材確保策

介護人材の確保について、神戸市では「コウベdeカイゴ」のプロジェクトを立ち上げ、対応いただいているが、その具体的な予算及び施策を示していただきたい。

他業種は賃金アップが進んでいるため、人材が他業種に流れないように早急に対応いただきたい。また、神戸市の保育士支援策と比較すると、支援内容も広報の仕方も劣っているように見えるので、介護人材確保も同様に对应いただきたい。

- ①保育士と同程度(7年間で最大160万円)の就職一時金の支給。
- ②神戸市内で人材が回るだけにならないよう、市外からの就職者への支援、家賃補助を手厚くしていただきたい。
- ③現行の新規採用介護職員に関する住宅手当等補助は正規職員の介護職だけが対象だが、契約社員や試用期間の方、職種も相談員等に対象を広げて欲しい。住宅手当が就業規則にない場合も対象として欲しい。補助額の引き上げ、期間延長もお願いしたい。※保育士の宿舍借り上げ支援事業:最大10万円、7年目まで。
- ④介護福祉士実務者研修受講費への補助をお願いしたい。※明石市は上限6万円の補助あり。
- ⑤神戸市高齢者介護士認定制度受講支援事業の要件が複雑で、手続きが煩雑なので、わかりやすい定額での補助をお願いしたい。
- ⑥神戸市の保育士支援策(6つのいいね)のように、目を引くわかりやすい内容で、駅構内のデジタルサイネージや屋外ビジョンのような人目に付く場所での広報をしていただきたい。

協会:市外から介護人材を得るためには、保育士と同じように神戸市で働く優位性をアピールできるような内容を確認していかないと、人材は集まらない。初任者研修の補助だけでなく、介護福祉士の受験要件である実務者研修の補助も考えていただきたい。兵庫県での補助は訪問介護に限定されており範囲が狭い。神戸市独自で実務者研修の補助をお願いしたい。

神戸市:実務者研修の受講費について県社協が20万円の貸付を行っており、2年間県内の施設で就労した場合、全額返還免除になる。福祉局として様々な施策を上げているが、市全体の財政の中では子育て施策のインパクトに比べると弱いので、引き続き予算の確保に努力していく。国や県の施策がないところや神戸市としてより力を入れていくべきと考えるところに対応していくことが重要である。人材確保の中でも一番課題となっているのが、新規人材の獲得であるという認識は一緒である。

協会:新しい施設が1軒開設すると60~70人介護職員が必要になる。それだけ新しい人にこの業界に入ってきてもらわないと人材不足を解消できない。新規施設の開設エリアが偏ることのないよう考慮していただきたい。新人も採用しているが、介護の養成校が減り、福祉系の学校を出て入職する人が減り、仕事がない等で募集条件だけを見て入職する人が増えている。

4. 利用者・家族からのハラスメント対策の強化

介護従事者に対する利用者・家族からのハラスメントがあった場合、介護サービス事業者が当該利用者との契約を終了しても、ケアマネジャー、あんしんすこやかセンターは継続して対応しなければならないため、大きな負担となる。神戸市独自で介護従事者向けの利用者・家族からのハラスメントに関する相談窓口を設置する、担当者を置く等の体制整備をお願いしたい。

神戸市:兵庫県では、介護従事者への暴力等について「訪問看護師・訪問介護員への暴力等お困り相談ひょうご」という相談窓口を設置しており、神戸市内の介護職員らも活用可能。神戸市独自で設置する場合には、県の窓口とどのようなところを差別化すべきかが課題。あんしんすこやかセンターではハラスメントも含めて対応困難で職員が困っているケースが多いので、神戸市では令和元年12月から各区において2ヶ月に1回、弁護士相談の時間を設けている。あんしんすこやかセンターには、地域のケアマネジャーから困難事例の相談も上がってくるので、地域の事例も含めて対応している。

協会:できれば現場対応するスタッフが直接相談できるような窓口をつくってほしい。

5. 関係者間の連携について

①今年4月よりケアプランデータ連携システムが本格稼働となったが、事業者の導入がなかなか進んでいない。神戸市として、今後どのように進めていくのか具体的に示していただきたい。

②関係者間で情報共有するためのツールは色々あるが、それぞれが違うツールを使用していると、相手毎に連絡方法が異なり余計に手間がかかる。神戸市内の関係者間の連携ツールを統一する等、神戸市としての方針を示していただきたい。

神戸市:①ケアプランデータ連携システムは国主導で開発したもので、この4月から本格稼働しているが、居宅介護支援事業所と介護サービス事業所両方が入ることにより活用できる。今のところ様子を見ている事業者が多いようなので、導入を後押しするために何らかの施策が必要だと思っている。国民健康保険中央会が様々な研修メニューを用意していると聞いている。

神戸市:②行政で特定の企業のソフトを推奨することは困難。各事業者では既に様々なソフトを使って連携を進めているので、それをどれか1つに統一するということが実務上可能なのかという疑問もある。

6. 介護事業者、ケアマネジャー等の負担軽減

①依然として利用者負担割合の確認についてケアマネジャーが多大な時間・労力を強いられている。医療保険者証、介護保険者証、負担割合証等、似たような体裁の書類が多いため、負担割合証の体裁を変更し、封筒に「ケアマネジャーに提示してください」と印刷する等していただきたい。複数の書類をまとめるなど、高齢者が保管すべき書類を減らしていただきたい。

②独居や高齢者のみの世帯の方には、複雑でわかりにくい手続きや書類が多く、ケアマネジャー等が手伝わないといけないものが多い。本人が用意、申請するような書類、手続きは高齢者にもわかりやすく簡便にしていきたい。指定難病医療費助成の更新手続きや、生活保護の方の介護タクシー3社見積もりなどは、本人・家族などが用意できない場合ケアマネジャーが手伝っていることが多いが、医療機関やケースワーカーに担っていただきたい。

③新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行になることに伴う介護事業所への通知文が、移行直前にかかなりの量届いた。介護事業者が対応しなければならないことに関する通知は内容を簡潔にし、時間の余裕をもって送っていただきたい。

④ケアネットがわかりにくい。変更届出ガイドのフローチャートは抽象的な質問項目がありわかりにくく、必要書類の場所もわかりにくい。シンプルでわかりやすいサイトにしていきたい。また、要介護認定の申請書をケアネットからダウンロードできるようにしていきたい。手書きによる間違いもあるので、それを防ぐこともできる。

神戸市:国の文章を意識して間違いがあってはいけないので、そのままお示しするようにしているが、色分けする、対比させる等、わかりやすいようにしていきたい。ケアネットについては、皆様の声をお聞きし、より良いものに作り替えていきたい。

上記以外に「介護報酬の引き上げ」「介護施設等の人員配置について」「介護人材確保・離職防止のための要望」「ケアマネジャーの人材確保」について厚生労働省等、関係機関に神戸市より要望いただきたいと要望した。

今回の要望に対して、令和6年2月に開催される第2回神戸市との意見交換会において、神戸市より回答をいただく予定となっています。

協会の活動状況

◆ 令和5年3月から令和6年1月までの動き

令和5年	
3月	2日 令和4年度第3回研修会（参加者82名）
	9日 令和4年度第6回居宅介護支援サービス部会 令和4年度第6回施設サービス部会
	13日 令和4年度第6回在宅サービス部会
	30日 令和4年度第2回理事会
4月	6日 令和5年度第1回運営委員会
	11日 令和5年度第1回神戸市高齢者介護士実務者会
5月	8日 令和5年度第1回在宅サービス部会
	11日 令和5年度第1回居宅介護支援サービス部会 令和5年度第1回施設サービス部会
6月	1日 令和5年度第2回運営委員会
	9日 令和5年度第2回神戸市高齢者介護士実務者会
7月	8日 神戸市高齢者介護士講習会1日目（参加者39名）
	10日 令和5年度第2回在宅サービス部会
	13日 令和5年度第2回居宅介護支援サービス部会 令和5年度第2回施設サービス部会
	26日 神戸市高齢者介護士講習会2日目（参加者39名）
8月	3日 令和5年度第1回神戸市との意見交換会
	8日 神戸市高齢者介護士講習会3日目（参加者39名）
	17日 令和5年度第1回理事会
	21日 神戸市高齢者介護士講習会4日目（参加者38名） 令和5年度第3回神戸市高齢者介護士実務者会
9月	11日 令和5年度第3回在宅サービス部会
	12日 令和5年度第1回神戸市高齢者介護士委員会
	14日 令和5年度第3回居宅介護支援サービス部会 令和5年度第3回施設サービス部会

9月	19日 サービス提供責任者研修会1日目（参加者24名）
	21日 令和5年度第1回研修会（参加者29名）
	24日 神戸市高齢者介護士認定試験（受験者38名）
10月	5日 令和5年度第3回運営委員会
	10日 令和5年度第4回神戸市高齢者介護士実務者会
	16日 令和5年度第2回神戸市高齢者介護士委員会
	25日 サービス提供責任者研修会2日目（参加者24名）
11月	9日 令和5年度第4回居宅介護支援サービス部会 令和5年度第4回施設サービス部会
	13日 令和5年度第4回在宅サービス部会
	17日 サービス提供責任者研修会3日目（参加者24名）
	20日 令和5年度神戸市高齢者介護士認定証授与式 令和5年度第2回研修会（参加者53名）
12月	7日 令和5年度第4回運営委員会

令和6年	
1月	11日 令和5年度第5回居宅介護支援サービス部会 令和5年度第5回施設サービス部会
	15日 令和5年度第5回在宅サービス部会

◆ 今後の予定(期日確定分のみ)

2月	1日 令和5年度第5回運営委員会
	22日 令和5年度第2回神戸市との意見交換会
3月	5日 令和5年度第3回研修会
	11日 令和5年度第6回在宅サービス部会
	14日 令和5年度第6回居宅介護支援サービス部会 令和5年度第6回施設サービス部会

紙媒体による協会だよりの発行を終了いたします

協会が設立された平成13年度より、協会事業についてお知らせする機関紙として発行してまいりました「協会だより」は、この59号をもちまして発行を終了させていただきます。

今後の協会事業の広報については、協会公式LINE、メールマガジン、ホームページへの掲載で対応させていただきます。LINE、メールマガジンはどなたでも登録できますので、個人のスマホ等のアカウントでご登録ください。登録方法は3ページをご確認ください。

今後も、皆様が活用しやすい媒体での情報提供等を検討していきたいと考えていますので、引き続きよろしくお願いたします。

編集後記

創刊から20年以上にわたり「協会だより」をご愛読いただきありがとうございました。私自身の仕事においても「協会だより」の原稿作成は思い出深いものがあります。掲載するコンテンツを何にするのか、わかりやすい紙面にするためにグラフやイラストを加えるなど、紙媒体ならではの工夫もありました。研修会報告は2時間の講演内容をいかにわかりやすく1ページにまとめるか苦労しました。「カイゴのお仕事」シリーズでは、たくさんの方に各職種の説明をしていただき、私自身大変勉強になりました。がんばる介護職を紹介する「笑顔のゲンキ」シリーズでは、実際に働いておられるところを取材させていただき、いきいきと仕事されている姿が強く印象に残りました。新型コロナウイルス感染症の流行により、介護現場に取材に行けなくなったのは残念です。「協会だより」は当初、年3回発行していたものを、だんだんと発行時期が遅くなり、この数年は年2回の発行になってしまったことは申し訳なく思っています。今後は、ホームページだけでなく、LINEやメルマガなど新たなメディアも活用し情報発信を続けていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。



(か)